

信州大学医学部附属病院 消化器外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025 年 7 月 17 日

「低侵襲再肝切除の安全性と適応に関する検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6556
研究課題名	低侵襲再肝切除の安全性と適応に関する検討
所属(診療科等)	消化器外科
研究責任者(職名)	野竹剛(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2030 年 5 月 31 日
研究の意義、目的	本研究により、技術的に難易度が高いとされている低侵襲再肝切除を安全に行うことが可能となり、腫瘍の再発により再手術が必要となった患者さんに対しても、これまでより低侵襲に手術を行うことが可能となり、患者さんへの利益につながるものと考えます。
対象となる方	2008 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日までの期間に信州大学医学部附属病院消化器外科において開腹下もしくは低侵襲肝切除を行った患者さん。
利用する診療記録	《患者情報》 年齢、性別、BMI、血液検査所見(白血球数、CRP、Total Bilirubin、ALP、γ GTP、AST、ALT、HbA1c 値)、手術の対象となった疾患、腫瘍の位置(肝内における位置:Couinaud 分類)、腹腔鏡下手術の Difficulty score 7). 《初回肝切除時の情報》 手術術式、胆嚢摘出の有無、癒着防止剤の使用の有無と種類、術後合併症 《再肝切除時の所見》 手術時間、出血量、総肝阻血時間、輸血の有無、癒着の部位・程度、肝十二指腸間膜確保の有無、Pringle 法による流入血遮断の有無、開腹移行の有無、他。 《再肝切除後の手術成績》 術後肝不全の有無・Grade、術後胆汁漏の有無・Grade、在院日数、再入院の有無、他。
研究方法	① 腹腔鏡下初回肝切除と再肝切除症例の手術成績の比較 腹腔鏡下再肝切除症例と初回肝切除症例の手術成績を後ろ向きに比較し、再肝切除症例の安全性について検討を行います。

	② 開腹下に行った再肝切除症例の手術所見の検討 開腹で行った再肝切除症例の手術所見を、過去の手術記録を後ろ向きに調査し、腹腔鏡下再肝切除を行う際に問題となりうるような術中所見の有無、発生頻度、問題となる所見の起こりやすい症例の特徴について検討します。その結果を用いて、腹腔下再肝切除の適応について考察します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 野竹剛(消化器外科・助教) 電話:0263-37-2654

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。